

読んで、感じて！

〔編著〕

根来麻子

甲南女子大学文学部准教授

こてん

シリーズ全5冊

一挙刊行！

特色

みゅーじあむ

古典

古典の面白いエピソードを

やさしく、わかりやすく

紹介するよ！

過去にタイムスリップして

昔の世界を楽しもう！

文学通信

小学校高学年～大人まで

1話2分で朝読にぴったり！

第1巻

くらし



第2巻

たべもの



第3巻

どうぶつ



第4巻

ことば



第5巻

もののけ



推薦



渡部泰明 探してごらん。
国文学研究資料館館長

古典は、いつも、
君のそばにあるよ。

●各巻、1,650円(税込)
四六判・並製・カバー装・136頁

古典みゅーじあむシリーズ 全5冊のご案内



編著者
ねごろ・あさこ
根来麻子

古典文学を、

もつと身近に、

もつと気軽に楽しんでほしい——

そんな想いから、本シリーズは生まれました。「くらし編」「たべもの編」「どうぶつ編」「ことば編」「もののけ編」という五冊シリーズです。それぞれのテーマにそったエピソードを集めていますので、どこから読んでもOKです。もくじを見て、気になるタイトルのページを、まずは開いてみてください。もちろん、前から順番に読み進めても楽しめます。

本シリーズでは、学校で習う有名な作品だけでなく、ちょっとマナーだけれど、面白いエピソードがたくさん収録されている作品も取り上げました。また、狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎・落語など、伝統芸能の演目として有名な作品も取り上げています。ひとくちに「古典」といっても、作られた時代やジャンルは、本当にさまざまです。みやびやかな物語もあれば、いさましい戦いのエピソードもあり、笑い話やこわい話もあります。本シリーズを読んで、ぜひ、自分の好きな作品を見つけてください。

エピソードの最後には、**へ声に出して読んでみよう**として、古典の原文を載せています。古典の文章は、目で読むだけでなく、実際に声に出して読んでみることで、独特のリズムやことばの雰囲気を感じることができ、ぜひ、チャレンジしてみてくださいね。

各編の章末には、「**読書案内**」として、主に原文・現代語訳・注釈が載っている書籍を載せました。各章で紹介したエピソードをもっとじっくり読みたいという方は、こちらを参照してください。また、巻末には「**年表**」を付け、本シリーズで取り上げた全作品が、それぞれの時代のものなのか、時系列で分かるようにしました。「**読書案内**」と「**年表**」は、学校の授業などにもお役立ていただけるとと思います。

本文の小学校高学年以上で習う漢字には、ふりがなを付けています。小・中学生から、古典が好きな高校生・大学生、また、「もう一度、古典を読んでみたい」という社会人の皆さんまで、幅広く多くの方に手に取っていただけることを願っています。

「2・5巻執筆」上鶴わかな（かみづる・わかな）／いちごんいっく舎
現在は、フリーの編集者として活動。主に小中学生向け教材の原稿執筆・編集・校正に携わっている。



ねごろ・あさこ 和歌山県生まれ。大阪市立大学（現・大阪公立大学）大学院文学研究科後期博士課程修了。現在は、甲南女子大学文学部准教授。専門分野は、奈良時代の文学、ことば・文字。幼少時から、昔話や民話、落語などの「おもしろいお話」に親しむ。中学・高校時代に古典や歴史の授業を受ける中で、昔の人々のくらしや文化に興味を持ち、大学では国文学を専攻。好きな古典作品は『古事記』。

総目次「全240話」

第1巻 くらし

第1章 古事記

- ① 日本列島のはじまり
- ② 太陽の神さまが隠れると?
- ③ ウサギを助けた神さま
- ④ オオナムチの大冒険!

第2章 竹取物語

- ① 三寸ばかりなる人になって、どんな人?
- ② 髪を結ぶのは、どんなとき?
- ③ プロポーズの方法は?
- ④ 富士山の名前の由来は?

第3章 古今和歌集

- ① 昔の季節と今の季節は違う?
- ② 季節を告げる鳥
- ③ 長生きのお祝いの行事
- ④ 和歌って、どんなもの?

第4章 土佐日記

- ① 日記を書くのは男の人だけ?
- ② 平安時代の引越
- ③ 平安時代のお別れ会
- ④ 海を渡るのは命がけ

第5章 伊勢物語

- ① プロポーズは和歌にのせて
- ② 洗濯は「大事」!
- ③ 庭でセンスのよさをアピール
- ④ 悲しい気持ちも和歌にして

第6章 枕草子

- ① 平安貴族の習いごと
- ② 女性に人気のお仕事は?
- ③ 烏帽子のファッションルール
- ④ 平安時代のペット事情

第7章 今昔物語集

- ① 買い物に便利な行商
- ② さむらいのお仕事
- ③ 昔の家はどんな家?
- ④ 山で出会った踊る人々

第8章 宇治拾遺物語

- ① 海賊だって怖くない
- ② 動物は身近な存在
- ③ いろいろなカレンダー
- ④ 他の人が見た夢を盗んだ男

第9章 御伽草子(鉢かづき)

- ① 子どもを思う母の気持ち
- ② 昔のお風呂はサウナだった?
- ③ どんな女性が妻にふさわしい?
- ④ 願いをかなえる観音さま

第10章 世間胸算用

- ① 買い物の支払いの後払い?
- ② お正月の飾り物
- ③ 雑煮は神さまだって食べた
- ④ お正月の行事はいろいろ

第11章 奥の細道

- ① 夏草が示すものは……
- ② 静かな山寺で詠んだ俳句
- ③ 長生きできる温泉?
- ④ 旅に生きた芭蕉

第12章 東海道中膝栗毛

- ① 神社へ行けば運がよくなる?
- ② お宿で大騒ぎ
- ③ 渡し船の中で大騒ぎ
- ④ ご当地グルメも旅の楽しみ

第2巻 たべもの

第1章 万葉集

- ① 夏バテにうなぎ?
- ② 魚介類のいろんな食べ方
- ③ 身近なおやつ
- ④ 楽しみとしてのお酒

第2章 古事記

- ① 食べ物の魔よけの力
- ② 食べ物が鼻やおしりから!?
- ③ 不老不死のみかん?
- ④ 魚と肉は大事な食べ物

第3章 風土記

- ① 白鳥が食べ物に变身!
- ② 川魚・アユで占い!
- ③ こんなに豊富! 海の幸
- ④ レンコンは葉だった?

第4章 枕草子

- ① 七草がゆの始まり
- ② やっぱスイーツが大好き!
- ③ 恋人との食事ははしたくない!
- ④ ワカメに託したメッセージ

第5章 源氏物語

- ① どんなスイーツがあった?
- ② 夏にはやっぱり涼をとる食べ物
- ③ もちに願いを
- ④ 平安人も歯が命

第6章 今昔物語集

- ① 瓜を分けてあげなかったばかりに……
- ② ダイエットの罠が……
- ③ 焼きハマグリはおいしいけれど……
- ④ ヘビになったそうめん

第7章 宇治拾遺物語

- ① ぼくもおもちを食べたい!
- ② 食べ放題はうれしいけれど……
- ③ きのこに生まれかわったお坊さん?
- ④ 生の魚は貴重品

第8章 徒然草

- ① 風流な家のそばに
- ② 高級な魚は何?
- ③ おもてなしのおやつ
- ④ お坊さんの大好物は?

第9章 御伽草子

- ① 猫とネズミの好物は何?
- ② イワシは嫌われ者?
- ③ 親孝行とタケノコ
- ④ 梅をなぐさめる野菜たち

第10章 川柳(誹風柳多留)

- ① 江戸のファーストフード
- ② なんとしても、フグを食べたい!
- ③ 江戸が生んだ食べ物、にぎり寿司
- ④ 子どもたちに大人気の飴細工

第11章 東海道中膝栗毛

- ① その手は桑名の焼き蛤
- ② とろろ汁で大騒ぎ
- ③ 将軍も好んだ安倍川もち
- ④ こんにやくと焼酎

第12章 浮世風呂

- ① 江戸の節約レシピ
- ② うなぎのあれこれ
- ③ 安すぎる鰹・高すぎる大根?
- ④ 江戸時代もお弁当が楽しみだった

第3巻 どうぶつ

第1章 万葉集

- ① カエルの鳴き声を聞くと……
- ② トラに乗って、空を飛ぶ?
- ③ ニワトリの鳴き声の意味は、人それぞれ?
- ④ 馬は大事な乗り物

第2章 日本霊異記

- ① キツネのラプストリー
- ② 恩返しにきたカニ
- ③ ワシにさらわれた子ども
- ④ 毒ヘビに生まれかわったお坊さん

第3章 竹取物語

- ① 焼けない火ねずみの毛皮
- ② 竜の首から宝石を取ろうとしたら
- ③ ツバメの子安良?
- ④ 他の宝物は……?

第4章 源氏物語

- ① 人の顔をもつ不思議な鳥
- ② 不吉な鳥?
- ③ ロマンチックな光
- ④ 空蟬——セミのぬげがら

第5章 今昔物語集

- ① 竜に仕返しされた天狗
- ② お経を聞くサルその後
- ③ 心やさしいウサギ
- ④ 竜を食べる巨大な鳥

第6章 平家物語

- ① 人々を恐れさせる怪物の正体
- ② 頼朝の「いけずき」という名馬
- ③ ニワトリで占う戦いの行方
- ④ イルカの大群がやってきた

第7章 宇治拾遺物語

- ① トラとサメとの戦い
- ② 魚に育てられた子ども
- ③ 人間をだますタヌキ
- ④ スズメからのプレゼント

第8章 古今著聞集

- ① マーメイドは美しい? おいしい?
- ② 古い家にすむキツネ
- ③ 魚を捕るサル
- ④ 不思議な海の中のネズミ



第9章 御伽草子

- ① 飛んでいった白ネズミ
- ② 巨大なムカデ退治
- ③ 浦島太郎はある動物に生まれ変わった!
- ④ 馬と人が合体!?

第10章 伊曾保物語

- ① キツネとツル
- ② 働きもののアリ
- ③ コウモリとツバメの秘密
- ④ ネズミとカエルのだとえ話

第11章 南総里見八犬伝

- ① 犬と結婚したお姫さま
- ② 犬のおなかから玉が出てきた?
- ③ 同じ玉とあざを持つ犬士たち
- ④ 次々と集まる同士たち!

第12章 甲子夜話

- ① 河童の目撃談
- ② 変身する動物
- ③ 踊る猫
- ④ 江戸時代のラクダブーム

第4巻 ことば

第1章 万葉集

- ① 美人のまゆは、月のよう?
- ② 恋のためなら死んでもいい?

第2章 古事記

- ① ホオズキのように真っ赤な目
- ② 岩のように長生き?
- ③ 大根のように白い腕?
- ④ 大和は国の「まほろば」

第3章 竹取物語

- ① 帝を「かしこい」と思わない?
- ② 「おもしろい」月ってどんなもの?
- ③ 人間の世界は「きたない」ところ?
- ④ おじいさんを「かなし」と思う、とは?

第4章 古今和歌集

- ① 「ながめ」は恋の物思い
- ② 「いたずら」に過ぎて行く?
- ③ 「なげき」は長いため息?
- ④ 心が「あこがれる」って?

第5章 枕草子

- ① 「あなた」に住む人
- ② 「きみ」は身分の高い人
- ③ 「おれ」って、いったい誰のこと?
- ④ 主人に対して「おまえ」?

第6章 源氏物語

- ① 「つぶつぶ」なのは、どんなもの?
- ② 泣き方もいろいろ?
- ③ 「ねうねう」は何の鳴き声?
- ④ 「あざあざ」と美しいとは?

第7章 今昔物語集

- ① 怖くて、毛が太る?
- ② 言い間違いを指摘したら……。
- ③ 書道の達人・空海
- ④ 語り継がれる不思議な話

第8章 方丈記

- ① お坊さんが住んだ「方丈」とは?
- ② 木の葉のように飛んでいく家
- ③ 長明を「なぐさめ」たのは?
- ④ 世の中を水の泡にたとえて

第9章 平家物語

- ① 「さらさら」と走る?
- ② 矢を射る音は……。
- ③ 悲しい笑い声は
- ④ 「ひらひら」と光る剣

第10章 宇治拾遺物語

- ① 「子」を十二個つなげると?
- ② 「が」で、身を減ぼした男
- ③ 歌にモノを詠みこむわざ
- ④ 「こそ」は愛称にもなる?

第11章 狂言

- ① 「すえひろがり」って何のこと?
- ② けなげで、かわいいうサル
- ③ 「ぶす」とはいつたい?
- ④ カニを退治する呪文

第12章 なぞなぞ

- ① 昔の人にしかわからないなぞなぞ
- ② 漢字のかたちを分解して……?
- ③ 文字を入れかえるとできるものは何だ?

- ④ 数字や九九でもなぞなぞができる!

第5巻 もののけ

第1章 風土記

- ① ひとつ目の鬼
- ② 神さまの怒り
- ③ 神さまと結婚
- ④ 不思議な火

第2章 日本霊異記

- ① 鬼の約束を守ってみると
- ② どくろの恩返し
- ③ 神さまをも上まわる力? 役行者
- ④ 鬼にも負けない力持ち

第3章 扶桑略記

- ① 青い笠をかぶった鬼
- ② 古代のUFO?
- ③ 聖徳太子の空飛ぶ馬
- ④ 浦島太郎の伝説

第4章 宇治拾遺物語

- ① ぞろぞろ歩く百鬼夜行
- ② ヘビの恩返し
- ③ ムササビの化け物
- ④ まどわし神にとりつかれた話

第5章 古今著聞集

- ① 源頼光と鬼
- ② 命を奪う古池の化け物
- ③ 猫には魔性がある?
- ④ 生まれかわった乳母

第6章 源平盛衰記

- ① キツネの神さま
- ② ネズミになったお坊さん
- ③ 亡くした剣の持ち主は……。
- ④ 天狗になった上皇

第7章 絵巻・奈良絵本

- ① 化け物の正体は……?
- ② 美女に化したキツネ
- ③ 古道具が動き出す?
- ④ 日替わりで現れるおばけ?

第8章 播州皿屋敷

- ① お城を乗っ取る計画を……。

竹取物語①

「三寸ばかりなる人」って、どんな人?

昔の長さの単位は?

■長さの単位は?

何かの長さを表すとき、今は「センチ」や「メートル」などを使いますね。でも、この「センチ」や「メートル」は、昔から使われて

■竹に入るほど小さい人

このお話は、おじいさんが、竹やぶの中でかぐや姫を見つけたころから始まります。かぐや姫は、

このときの身長が「三寸」なのです。「寸」とは、昔の長さの単位です。今は、一ミリ・一センチ・一

メートルなどが長さの単位ですが、昔は、「寸」「尺」が基本でし



小学校高学年〜大人まで

1話2分で朝読にぴったり!



三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

「メートル」は、昔から使われていたわけではありません。『竹取物語』では、登場したヒロインが「三寸ばかりなる人」（身長が三寸くらいのひとと表現されています。さて、では「三寸」とは、どのくらいの身長なのでしょう。）

光る竹づつの中にちよこんと座っていました。驚いたおじいさんは、そのかぐや姫を「手にうち入れて」（手の中に入れて）家に連れて帰ります。竹づつの中に入るサイズで、しかもおじいさんの手のひらに乗るくらいですから、とても小さな女の子だったことが分かりますね。

が、昔は、「寸」「尺」が基本でした。「寸」は約三センチ、「尺」は約三十センチです。かぐや姫の身長は、「三寸」——つまり約十センチだったのです。

■大活躍の小さなヒーローも！

他に「寸」という言葉が出てく

るお話には、『一寸法師』があります。このお話の主人公は、かぐや姫よりさらに小さく、身長が「一寸」——約三センチなので、「一寸法師」と名づけられました。一寸法師は、三センチの小さな体にもかかわらず、勇敢に大きな鬼を退治する、かつこいヒーローです。また、外国にも、チューリップの花から生まれた親指くらいの身長のお姫さまが、ヒキガエルやモグラの世界を冒険しながら、最後には花の国の王子さまと幸せに暮らす、『おやゆびひめ』という

お話があります。小さなヒーローやヒロインが活躍するお話は、日本にも海外にもたくさんあるのです。

■ヒロインは月の人！

さて、身長が「三寸」しかなかったかぐや姫ですが、たった三カ月で普通の大人の身長にまで大きくなりました。そして、その美しさを聞きつけた五人の貴公子から、熱烈なプロポーズを受けます。ところがかぐや姫は、結婚の条件として、とても手に入らないような

プレゼントをほしがります。五人の貴公子は、誰もプレゼントを用意することができなかったため、プロポーズは失敗に終わってしまいました。

貴公子たちのプロポーズを断つたのには、わけがありました。実はかぐや姫は、月の世界からやってきた人だったのです。

さて、いったいどんな結末が待っているのでしょうか？それは最後のお楽しみにして、もう少し、かぐや姫の暮らしについてみてみましょう。

●へ声に出して読んでみようとして、古典の原文を載せています。

古典の文章は、目で読むだけでなく、実際に声に出して読んでみることで、独特のリズムやことばの雰囲気を感じることができ、ぜひ、チャレンジしてみてください。



特設サイト

[シリーズのくわしい情報を公開しています!]

<https://bungaku-report.com/koten-museum.html>



第11章 耳袋

① 大きな口で吸い取るものは……。

② 頭痛を治す神さま

③ 化け猫のはなし

④ 幽霊に会った男

第12章 甲子夜話

① ろくろ首のうわさ

② ぶんぶくちやがま

③ 雷の正体はどんな姿

④ 大きなへび「うわばみ」

第9章 雨月物語

① 吉備津の釜から鳴る音

② お金の精霊

③ 鬼になったお坊さん

④ へびの魔物

第10章 東海道四谷怪談

① 民谷伊右衛門の悪たくみ

② お岩と毒薬

③ お岩のたたり

④ 悲劇の結末

シリーズ全5冊構成

[各巻 四六判・並製・カバー装・136頁]

特設サイト

[シリーズのくわしい情報を公開しています!]

<https://bungaku-report.com/koten-museum.html>



第1巻 くらし

根来麻子編著
『読んで、感じて! 古典みゆーじあむ
第1巻 くらし』
ISBN978-4-86766-061-4 C0095
四六判・並製・136頁
定価:本体1,650円(税込)



第2巻 たべもの

根来麻子[編著] 上鶴わかな[執筆]
『読んで、感じて! 古典みゆーじあむ
第2巻 たべもの』
ISBN978-4-86766-062-1 C0095
四六判・並製・136頁
定価:本体1,650円(税込)



第3巻 どうぶつ

根来麻子編著
『読んで、感じて! 古典みゆーじあむ
第3巻 どうぶつ』
ISBN978-4-86766-063-8 C0095
四六判・並製・136頁
定価:本体1,650円(税込)



第4巻 ことば

根来麻子編著
『読んで、感じて! 古典みゆーじあむ
第4巻 ことば』
ISBN978-4-86766-064-5 C0095
四六判・並製・136頁
定価:本体1,650円(税込)



第5巻 もののけ

根来麻子[編著] 上鶴わかな[執筆]
『読んで、感じて! 古典みゆーじあむ
第5巻 もののけ』
ISBN978-4-86766-065-2 C0095
四六判・並製・136頁
定価:本体1,650円(税込)

お問い合わせ

〒113-0022 東京都文京区千駄木2-31-3
サンウッド文京千駄木フラッツ1階101
文学通信 営業部

電話03-5939-9027 FAX03-5939-9094
info@bungaku-report.com

<https://bungaku-report.com/>

申込書

| | | |
|---|--------|-----------------------------|
| 読んで、感じて! 古典みゆーじあむ 第1巻 くらし ISBN978-4-86766-061-4 | 冊 | 番線印 |
| 読んで、感じて! 古典みゆーじあむ 第2巻 たべもの ISBN978-4-86766-062-1 | 冊 | |
| 読んで、感じて! 古典みゆーじあむ 第3巻 どうぶつ ISBN978-4-86766-063-8 | 冊 | |
| 読んで、感じて! 古典みゆーじあむ 第4巻 ことば ISBN978-4-86766-064-5 | 冊 | |
| 読んで、感じて! 古典みゆーじあむ 第5巻 もののけ ISBN978-4-86766-065-2 | 冊 | |
| 書店名 | | 毎度ありがとうございます。ご注文をお待ちしております。 |
| ご住所 〒 | お電話() | |
| お名前 | | |